

公立藤岡総合病院附属外来センター診療予定表 平成27年7月1日現在

診療科	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合診療科 (新)新患・(再)再来	(新)河合 (再)高野	(調)壁谷 (調)神保	(新)岩瀬 (調)河合	(調)河合 (調)飯島	(新)河合 (新)内藤	(調)河合 (調)飯島	(新)大崎 (新)荒木	(神)柳澤 (神)飯島(貴) 鈴木	(新)壁谷 (調)岩瀬	(神)柳澤 (調)岩瀬
循環器	植田	高松	井上 間測	井上	☆山岸 小野	☆山岸	飯島(徹) 植田 高松 鈴木	飯島(貴) 鈴木	小野 ☆山岸	間測
呼吸器	中川	中川	塚越 ☆池田	塚越 神戸		須賀 ☆池田 ※禁煙外来	高野 嚙下外来 (第1・3週) 在宅酸素外来 (第2週)	高野	中川	塚越
血液	外山 (再)神保	大崎	齊藤(明)		齊藤(貴)		齊藤(明)		外山 ☆内藤	
腎臓・リウマチ	宮	☆太田	荒木		☆太田		宮	塚田 河合	塚田	塚田
糖尿病	今村			☆朱			今村 ☆朱	☆朱	☆朱	☆朱
神経内科	柳澤	柳澤	柳澤		柳澤 (第2・4)			古田 (第2・4)	古田 (第2・4)	
甲状腺						※常川				
(消)消化器・(肝)肝臓		(消)☆山口 ※柳澤 (15:00~16:00)	(消・肝)壁谷	(消)☆山口			(消)秋谷 (調)壁谷			
緩和ケア外来										
心療内科	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝) ※佐藤	※五十嵐(孝) ※佐藤	※五十嵐(孝) ※鈴木	※鈴木	※五十嵐(孝) ※五十嵐(孝)	※五十嵐(孝)		
小児科 (乳)乳児健診 (予)予防接種	川嶋 相馬	(心臓)※岡田 (第2・4) ※川嶋 (予)※深澤	川嶋 ※懸川	※川嶋 ※相馬 (内分泌) ※小和瀬	川嶋 ☆小山	※川嶋	川嶋 相馬 ※川嶋 ☆懸川	※五十嵐(恒) ※川嶋	川嶋 深澤	※川嶋 ※渡部 (乳)※相馬
外科 (新)新患 ()がん専門外来	(新)☆徳田 田中 中里	(消化器・食道) 田中 (消化器) 中里	(新)安藤 ☆松本	(消化器・乳) ☆松本	(新)☆松本 設楽 山中	設楽	(胃大腸) 安藤 (一般) 山中	(新)☆徳田 森永	(胃大腸・肝臓) 森永 (消化器・乳) ☆徳田	
ストーマ外来									要予約	
整形外科	☆大嶋 山口 関		中島 勝見 萩原 10時30分~ 器具外来		☆大嶋 橋本 萩原 (リハビリ) 清水		小林 橋本 関 10時30分~ 器具外来		中島 山口 萩原 (リハビリ) 清水 10時30分~ 器具外来	
脳神経外科	若林		非常勤		田村 ※甲賀				非常勤 甲賀	
皮膚科	嶋岡		嶋岡	[手術]	嶋岡 手術 (13~15時)		嶋岡	嶋岡	嶋岡	
泌尿器科	内田	内田	坂本	坂本	曲		内田		武井	武井
産婦人科 (婦)婦人科・(産)産科	(婦)吉田 (産)☆延命	(婦)吉田 (産)吉田	(婦)☆延命 (産)吉田	吉田 ☆延命	(婦)吉田 (産)岡庭	(婦)吉田 (産)山下	(婦)☆延命 (産)遠藤	(婦)☆延命 (産)遠藤	※吉田 (産)小松 ※吉田	(産)小松 ※吉田
助産師外来		※13~14時		※14~16時		※14~16時				※14時~16時 (第3・4)
眼科	永井	[検査]	永井	[検査]	永井	[検査]	※群大		永井	[検査]
耳鼻咽喉科		※群大 (14時30分~)	※非常勤		※古屋		※群大	※めまい外来 (14時~)		
ペインクリニック	荒井/金井/萩原						牛込			

診療時間：8時45分~17時00分 ※は完全予約
 受付時間：〈午前の部〉8時~11時 〈午後の部〉13時~16時 ☆は女性医師

■発行：〒375-8503 群馬県藤岡市藤岡942番地1 公立藤岡総合病院 経営管理部 企画財政課
 (代表)TEL 0274-22-3311 FAX 0274-24-3161 URL http://www.fujioka-hosp.or.jp/

2015年 夏号 発行日▶2015.7.24

公立藤岡総合病院

地域医療連携だより

病院の理念
患者本位の医療

基本方針

- 患者さまの意思を尊重し、信頼される医療を提供します。
- 地域中核病院として、高度な医療と救急医療の充実に努めます。
- 急性期病院として関係機関と連携し、地域医療の充実を目指します。
- 地域がん診療連携拠点病院として、機能の充実強化に努めます。
- 臨床研修指定病院として、地域医療を担う優れた医師の育成に努めます。
- 地域医療支援病院として、地域の医療人の教育・研修の充実強化に努めます。

研修理念

臨床研修は、医師が、医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割と医療チームの一員であることを認識しつつ、一般的な診療において頻りに関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けると同時に医療安全への配慮を身に付けることを基本理念とする。

基本方針

- 基本的知識・技能・態度を習得する。
- 患者中心の医療を理解し、実践する。
- チーム医療の重要性を理解し、実践する。
- 医療安全を深く理解し、実践する。
- 医療人としての倫理観を養成する。
- 地域医療の重要性を理解し、実践する。

地域医療支援病院活動報告

副院長兼地域医療支援連携センター長 甲賀 英明



日頃より当院の地域医療連携に格別なご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

地域医療支援病院は「かかりつけ医等への支援を通じて地域に必要な医療を確保する」施設です。医療連携(紹介率、逆紹介率)、救急医療の提供、医療機器の共同利用、地域の医療従事者に対する研修、退院調整部門の設置、地域医療連携パスの普及が求められています。

このための具体的な方策として

- 1) 「可能な限り受け入れる」救急医療への取り組み、受け入れ率の向上、受け入れ不能例の検証を行っています。
- 2) 地域医療連携＝顔の見える関係を構築します。紹介状に対する返書の徹底。
- 3) 入退院センターを設置し、よりスムーズな退院調整をすすめていきます。
- 4) 地域連携クリティカル・パスをより一層の推進していきます。
- 5) 地域住民への情報発信を積極的に行います。

今後も地域医療機関とより一層の連携を推進してまいりますので、ご協力よろしくお願いたします。

	平成25年度	平成26年度	前年比
入院1日平均患者数	324.0人	328.5人	4.5人
病床利用率	89.0%	90.2%	1.2%
救急車受け入れ数(年間総計)	3,545件	3,694件	149件
地域医療支援病院紹介率	78.5%	76.4%	-2.1%
地域医療支援病院逆紹介率	60.1%	142.8%	82.7%
外来センター 1日平均患者数	792.0人	768.2人	-23.8人
外来センター紹介率	24.7%	27.4%	2.7%
登録医状況	139医療機関153名	147医療機関164名	8医療機関11名
大腿骨頸部骨折地域連携バス	48人	71人	23人
脳卒中地域連携バス	93人	83人	-10人
5大がん地域連携バス	5人	4人	-1人
地域医療従事者への研修	35回	21回	-14回

※平成26年度より紹介率・逆紹介率の算定方式が変更となりました。

放射線診断科のご紹介

放射線診断科は4月から2名の常勤体制となりました。放射線診断科の主な仕事内容は、CT、MRI、核医学検査の読影です。その他に、他科から依頼があれば、骨や内臓の生検、膿瘍ドレナージ、血管造影も行います。

常勤医がいなかった時期は、地域連携の先生からのご紹介に対する報告書作成は翌日以降でしたが、これからはよりスピーディーに、1時間以内の作成を目標したいと思います。

当日中に報告書を見ながら患者さんの診察が可能になると思います。また、緊急性があれば、その場で救急外来に回っていただくなど、円滑に行えるようになるかと思えます。

ここ数年のトピックスとしてはMRI造影剤による腎性全身性線維症(NSF)があります。腎機能低下のある患者さんで発症するガドリニウム造影剤による遅発性副作用で、全身の皮膚の腫脹や硬化、疼痛で発症し、進行すると四肢関節の拘縮をきたす疾患です。有効な治療法がなく、予防が極めて重要です。私が入局した10数年前は、腎機能が悪い患者さんは造影CTではなく、造影MRIをしましょうという時代でした。それが、NSFという疾患の認識によって大きく変わりました。今正しいとされていることが本当に正しいかどうか、実はわからないことが多くあります。常に自分の知識をUp Dateさせ、患者さんにとって最善と思われることを常に考えなければならないと思います。



放射線診断科医長 神宮 晶子
放射線診断科医長 守屋 真吾

小児科のご紹介

小児科は今年度1名増員となり、5名の医師で診療にあっております。

外来につきまして、小児科の診療範囲は小児の内科全分野と幅広いですが、当院外来では一般小児科に加え腎臓、内分泌、アレルギー外来は各分野の専門医が担当しており、循環器、神経外来もその分野を専門とする医師が診療を行っております。感染症のみならず学校検尿、心電図異常、夜尿症、気管支喘息、食物アレルギー、てんかん、低身長等悩ましい症例につきましてもご紹介いただけますと幸いです。

入院につきましては、気管支炎や胃腸炎などの感染症が最も多いのは小児科の特徴ですが、それに加え、今年度より県内の小児腎臓疾患の拠点として腎生検を含めた腎疾患の高次医療を提供できるようになりました。また、近年増えつつある食物アレルギーについては、近日中にアレルギー専門医指導の下、食物負荷試験を含めた精密な検査ができる予定となっております。また、重症児については群馬大学医学部附属病院、群馬県立小児医療センター、埼玉県立小児医療センターなどの高次医療機関と密な連携をとりながら診療しております。

これからも地域に根ざした中核病院として頑張っていきたいと思っておりますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。



小児科部長
渡部 登志雄

平成27年6月6日(土) 外来センターで ふれあい健康教室を開催しました

●藤岡中央高等学校吹奏学部 55 名のみなさんによるミニコンサート。

●講演：「糖尿病にならないために！」
①糖尿病とは ②食事・運動で予防



来年もご参加お待ちしております。

TOPICS

リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015ぐんま 10/17(土) 12:00 START ▶ 18(日) 12:00 FINISH



当院は、今年もがん征圧チャリティーウォークイベントに参加・後援します。

詳しくは、地域医療支援連携センターまでお問い合わせ下さい。

「がん診療に携わる医療者に対する緩和ケア研修会」 受講者を募集いたします

日 時：平成27年11月22日(日)・23日(祝)

時 間：8時30分～18時25分

会 場：公立藤岡総合病院附属外来センター 群馬県藤岡市中栗須813-1

☎0274-22-3311

受講対象者：医師及びがん診療に携わる医療者

申込期限：平成27年9月30日(水)必着

問い合わせ：地域医療支援連携センターまで ※詳しくはホームページ「お知らせ」よりご覧ください。